

東日本大震災への支援として、毛布を提供しました。

去る3月17日に、(社)佐賀県建設業協会では、この度の大地震に被災された方々への支援として県内会員各社の役員・従業員の方々から、新品あるいはクリーニング済の毛布を拠出して頂き、緊急支援物資として県に提供しました。

◎3月16日(水)

15日に各支部へ依頼し、16日には県の建設会館へ持ち込んで頂くという過密スケジュールにもかかわらず、目標とした1,000枚を大きく上回る2,000枚もの毛布が集まりました。



○県建設会館へ運び込んで頂いた毛布。

県建設会館内の事務所の方々にもご協力頂き、毛布の梱包作業を行いました。



○協力頂いた事務所の方々と共に、ダンボールへの梱包を行いました。

(協会佐賀・被災防佐賀県支部・石材組合・建築士会・建築士事務所協会・舗装部会・火薬保安協会)

◎3月17日(木)

午前10時に県庁へ搬入し、県土づくり本部 牟田本部長に対し、岸本会長より目録をお渡ししました。



○県の新行政棟玄関前へ搬入



○県土づくり本部 牟田本部長へ目録を手渡し(岸本会長・牟田副会長)



○県民ホールと搬送のトラックに積み込み

今回は、緊急支援という形で毛布を送らせて頂きましたが、急なお願いにもかかわらず沢山提供して頂いた会員の皆様、連絡・取りまとめ・搬送の作業を頂いた支部長並びに協会事務局の方々、各地からの荷物の運搬にご協力頂いた会員各社の方々、作業頂いた建設会館各事務所の方々、沢山のお力で今回の物資提供が出来ました事を感謝すると共に、心から御礼申し上げます。

今はまだ命を繋ぐことが最優先です。我々建設業界の力が発揮できる状況になるまで、まだまだ時間がかかるでしょうが、今出来ることを「常に考える」事が大切だと思います。

エールを送りましょう。あきらめないでと伝えましょう。被災者の方々が前を向いて歩けるようになるその日まで、我々も忘れずに助けの手を差し伸べ続けましょう。ガンバレ！